

2023年3月20日

和歌山県知事
岸本 周平 様

ティグレ連合会
理事長 橋 悦 二

中小企業・小規模事業者の存続と発展を目指して
和歌山県への要望書

日夜の取り組みに厚く敬意を表します。

私どもティグレ連合会は、中小企業・小規模事業者の「いのちとくらしを守る」ことを使命とし、「平和・人権・環境」を大切にしたい真に豊かな活力ある社会の発展に寄与することを使命とした全国3万余りの中小企業・小規模事業者が集う団体で、今年8月に50周年を迎えます。

コロナ感染拡大から3年が経過する中、国や和歌山県独自の取り組みで中小企業・小規模事業者は、多岐に渡る支援策によって助けられてきました。しかし、今年からゼロゼロ融資の返済も始まり、事業の収益がコロナ前に戻らない中、大変厳しい状況が続いています。実態把握はもとより厳しい業界への即効性のある支援を強く要望します。以下、具体的重点3項目を要望します。

記

1. 飲食、宿泊、観光需要の支援を要望します。

白浜を中心に観光客も戻りつつありますが、まだまだコロナの感染状況に一喜一憂しているのが実態です。

個人事業主でスナック経営や飲食店経営の会員の中には、コロナ関連の受給できる支援金がほぼなくなり、個人の事業年度である12月で廃業して、税務署へ廃業届を提出する事業主も増加しています。

また、今年の確定申告や決算相談の中で、よく聞く言葉が、「国や県や市町村などからのコロナ支援金は有難かったけど、水道光熱費や原材料の高騰で給付金が消えていく」といった内容です。

まだまだいろんな分野での価格の上昇が見込まれる状況の中で、個人事業主への継続した支援策を強く要望します。

2. 南紀白浜空港の更なる活用を要望します。

羽田と一日3往復便が就航され、さらに一往復の臨時便就航のキャンペーンが実施されていますが、他の都市（空港）との就航便があればもっと活気づくと思います。和歌山の観光知名度は高まっている中で、福岡や札幌などとも就航ができれば観光客誘致に直結すると思います。現状はそれぞれの地域から一度大阪を経由し、さらに鉄道で2時間の移動が必要です。行きたいけどあきらめている方も多数いらっしゃいます。近い将来に向けて、各関連省庁への働きかけを強く要望します。

3. 大学の誘致を強く要望します。

現状、紀南地域には高校卒業後、学べる施設が多くありません。大学の一部学部や研究所などがありますが、進学となると大阪や東京へと巣立っていくのが現状です。商売をされている会員のご子息でも、高校卒業後そのまま家業である仕事を継ぐケースは少なく、一度大阪などに進学し、その後はその土地で就職するのか、Uターンで家業を承継するか、本人に委ねられるといます。実際の所、高校卒業後も紀南で学べそしてそのまま地域の一翼を担ってもらえる選択肢が増えてくれれば良いと思っています。会員は少なから存在します。

人口流出や地場産業、中小企業・小規模事業者のこれからの存続・発展のために関係各所への働きかけを強く要望します。